

**エントリー名：**鹿児島県鹿屋市立鹿屋中学校

**活動名：**  
 みんなが幸せになる学校づくり  
 生徒と共に取り組む授業改善の取組を通して

**解決すべき課題：**

- 基礎学力の向上が喫緊の課題であり、本校を含め地区として学力向上が求められている。
- 素直で朗らかな生徒が多いものの、自分たちから行動することにやや弱い面が見られる。
- 授業改善のために共通実践事項を設定し、全教科で実践しているものの、生徒にとって自分たちの学力を向上するための取組となっておらず、効果的な実践となっていない。

**目標・方針：**生徒や仲間と共に！ 誰一人取り残さず、みんなが幸せになる学校を目指して！！

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善  
 「誰一人取り残さない授業」を目指して
- 生徒会活動と連携した授業改善  
 「誰一人取り残さず、みんなが幸せになる！」を合い言葉に

**活動内容：**

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
  - 月 1 回の「相互授業参観週間」による指導力向上  
 毎月 1 回を「相互授業参観週間」に設定し、評価シートを基に互いの授業を参観し合うことで、授業改善につなげる。
  - 学習指導委員会を核とした全校体制での共通実践化  
 隔週で学習指導委員会を開催し、各学年の授業や学習面での課題について話し合い、全校体制で課題の解決策を練り、実践化に向けて協議する。
- 生徒会活動と連携した授業改善
  - 生徒会活動「学びプロジェクト」、「学びリーダー」会との連携  
 生徒会学習図書部と連携し、学習者である生徒自身の手でより良い授業となるよう年間活動計画を作成し、「学びリーダー」を中心に授業改善と学習活動の充実に取り組む。
  - 研究授業への生徒の参観及び授業研究への生徒の参加  
 研究授業が行われる際に「学びリーダー」は授業参観を行い、評価シートを基に生徒の学ぶ様子を評価する。授業研究では「学びリーダー」も参加し、授業改善に向けて意見発表を行い、より良い授業づくりについて共に協議する。

**取組の過程：**

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 

・毎月、第三週を「相互授業参観週間」に設定し、互いの授業を見せ合い、授業改善につなげる。初回は担当する学級の授業、2 回目は同じ教科、領域の授業など、多くの授業を参観できるようにした。「ありがとう参観シート」を全職員に配布し、それを活用して良かったところを中心に評価し合うことで、授業実践の意欲化を図った。

・研修係、学習指導係を中心に 5 教科担当職員と管理職で学習指導委員会を構成した。各学年の学習に関する課題を協議し、授業改善につながる実践事項を全職員に提案し、実践化が図れているか隔週で協議・確認を行った。学習指導委員会のメンバーで定期的に授業参観を行い、研修係からの「研修便り」に授業で良い点や生かせる点などを紹介し、互いの実践に活かせるように働きかけた。

**2 生徒会活動と連携した授業改善**

・生徒会学習図書部と連携し、「KANOKYA 学びプロジェクト」による授業改善、学習活動の充実を目的に継続して活動に取り組んだ。授業での取組と家庭学習の充実のバランスをとりながら年間活動計画を立て、集会で発表し、全校生徒の理解を得ながら活動した。



【プロジェクト活動計画】

・授業を積極的に進め、学びを深めていくために年 2 回「学びオリエンテーション」を開催し、第 1 回では 1 年生の不安を払拭し、第 2 回では学びを活性化できるよう「学びリーダー」が中心となって全校生徒で学びについて考えた。



【学びオリエンテーション】

・日々の家庭学習が充実するよう「アクティブ・チャレンジ」を開催し、1～3 年生がそれぞれのグループに分かれ、本校で独自に取り組んでいる家庭学習帳「アクティブ・ノート」の取組を互いに紹介し合い、良い実践を取り入れた。



【取組を紹介し合う様子】

・各学級から「学びリーダー」を選出し、学び合い活動などでは自分たちで学級の学びをファシリテートできるように取り組んだ。毎月 1 回、「学びリーダー会」を開催し、各学級の授業での課題点等について協議し、より良い授業が展開できるよう知恵を出し合った。



【「学びリーダー会」の様子】

・研究授業を行う際に、授業学級以外の「学びリーダー」が参観し、評価シートを基に授業での生徒の学ぶ姿を評価し、授業研究において良かった点や改善策について意見を発表した。授業学級の「学びリーダー」は、授業研究の中で、授業を受けての感想や改善案について発表し、より良い授業について教職員に提案した。さらに、研究授業での学びを全校に広げるために、「学びリーダー」は研究授業の様子を各学級、全校集会で報告し、学級、学校全体での実践に活かした。



【研究授業を参観する生徒】



【授業研究で発表する生徒】

**活動の成果：**

- 鹿児島県全体で行っている鹿児島学習定着度調査において、前年度より 1 年生は 10.8pt、2 年生は 6.9pt 向上し、大幅な学力の定着が見られた。
- 全国学力学習状況調査の生徒質問紙「生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができて」と答えた生徒が 73.1pt から 83.2pt に約 10pt 向上した。
- 全国学力学習状況調査の生徒質問紙「先生から話を聞いたり、先生から話を聞いたり」と答えた生徒が 73.1pt から 83.2pt に約 10pt 向上した。
- 文部科学省の職員研修や「鹿屋中オープンスクール」で本校の取組を紹介したところ、『仲間たちを誰一人取り残さないように「学び合い」、学びの意義を「幸せになるため」と位置付けて全校生徒で取り組んでいることに、とても感動しました。』など多くの反響をいただいた。


